



TITLE:

細菌性前立腺炎に対する薬効評価基準

AUTHOR(S):

CITATION:

細菌性前立腺炎に対する薬効評価基準. 泌尿器科紀要 1989, 35(3): 437-445

ISSUE DATE:

1989-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/116471>

RIGHT:

Appendix

細菌性前立腺炎に対する薬効評価基準

【1】急性前立腺炎

1. 対象疾患

尿路に基礎疾患を有さない急性細菌性前立腺炎（直腸指診にて前立腺に腫大および圧痛を認めるもの）

2. 患者条件

1)年齢：16歳以上，70歳未満

2)症状：37℃以上の発熱および排尿痛を有するもの

3)膿球：投薬前 VB1 または VB2 中膿球数 ≥ 10 コ/hpf

4)菌数：投薬前 VB1 または VB2 中生菌数 $\geq 10^4$ コ/ml

ただし，EPS，VB3 が得られた場合はその所見を採用する。

3. 投薬期間

7日分投薬する。ただし，7日分以上の投薬を継続する場合も，その前に本項の必要項目のチェックを行い，判定を行っておけば本基準を適用できる。

4. 臨床効果の判定

総合臨床効果は7日後に判定するが，3日目に急性期の症状に対する効果を評価する。

〔A〕3日目判定（症状に対する効果）

3日目に発熱と排尿痛に対する効果を判定する。

これらの成績から，薬剤の継続投与が不適切と判断された場合は，Stamey 法により可能な範囲において膿球，細菌について検索する。

3日目で当該薬剤の投与を中止した場合，7日目までの治療経過を調査表に記載する。

1) 発熱に対する効果〔Effect on Fever〕

発熱に対する効果は下表のごとく平熱化 Resolved 軽快 Improved，不変（増悪を含む）Persisted の3段階に判定する。

投薬前	判定時	－	＋	＋～冊
＋		平熱化	不変	不変
冊		平熱化	軽快	不変
冊		平熱化	軽快	不変

注：発熱の記載法

－：最高体温が 37℃ 未満

＋：最高体温が 37℃ 台

冊：最高体温が 38℃ 台

冊：最高体温が 39℃ 以上

2) 排尿痛に対する効果〔Effect on Pain on Micturition〕

排尿痛については下表のごとく消失 Resolved，軽快 Improved，不変（増悪を含む）Persisted の3段階に判定する。

投薬前	判定時	－	＋	冊	冊
＋		消失	不変	不変	不変
冊		消失	軽快	不変	不変
冊		消失	軽快	軽快	不変

注：排尿痛の記載法

－ なし。

＋：排尿時に痛いと感じるが，たいした苦痛ではない。

冊：排尿時に相当痛いと感じるが，辛抱できる。

冊：排尿時に飛び上るほど痛くて，何らかの処置を希望する。

〔B〕7日目判定

7日目に発熱と排尿痛に対する効果，膿球に対する効果，細菌に対する効果，総合臨床効果および細菌学的効果を判定する。ただし膿球および細菌に対する効果判定には前立腺マッサージをおこない EPS，VB3 の所見を採用する。EPS が得られれば，その所見を優先して採用する。

1) 発熱および排尿痛に対する効果〔Effect on Fever, Pain on Micturition〕

発熱に対する効果は下表のごとく平熱化 Resolved 軽快 Improved，不変（増悪を含む）Persisted の3段階に判定し，それぞれ2，1，0点のスコアを与える。

投薬前	判定時	－	＋	冊～冊
＋		平熱化(2)	不変(0)	不変(0)
冊		平熱化(2)	軽快(1)	不変(0)
冊		平熱化(2)	軽快(1)	不変(0)

排尿痛については下表のごとく消失 Resolved, 軽快 Improved, 不変 (増悪を含む) Persisted の3段階に判定し, それぞれ2, 1, 0点のスコアを与える。

判定時 投薬前	—	+	++	+++
+	消失 (2)	不変 (0)	不変 (0)	不変 (0)
++	消失 (2)	軽快 (1)	不変 (0)	不変 (0)
+++	消失 (2)	軽快 (1)	軽快 (1)	不変 (0)

他の症状についても排尿痛と同様に判定する。しかし, 総合臨床効果の判定には発熱に対する効果および排尿痛に対する効果を用いる。

すなわち7日目のこれら2症状のスコアの和から症状 (発熱, 排尿痛) 消失4点, 軽快2~3点, 不変0~1点の3段階に判定する。

2) 膿球に対する効果 [Effect on WBCs]

下表のごとく正常化 Cleared, 改善 Decreased, 不変 (増悪を含む) Unchanged の3段階に判定する。

判定時膿球 投薬前膿球	0~4コ/hpf (—)	5~9コ/hpf (±)	10~29コ/hpf (+)	++	+++
10~29コ/hpf (+)	正常化	正常化	不変	不変	不変
++	正常化	正常化	改善	不変	不変
+++	正常化	正常化	改善	改善	不変

3) 細菌に対する効果 [Effect on Bacteria]

判定時に残存している原因菌と交代菌の菌数の組み合わせにより, 下表のごとく陰性化 Eliminated, 減少 Decreased, 菌交代 Replaced, 不変 (増悪を含む) Unchanged の4段階に判定する。

交代菌 残存原因菌	0~<10 ³ コ/ml	≥10 ³ コ/ml
0	陰性化	菌交代
<10 ³ コ/ml	減少	
≥10 ³ コ/ml	不変	不変

交代菌 残存原因菌	0~<10 ⁴ コ/ml	≥10 ⁴ コ/ml
0	陰性化	菌交代
<10 ⁴ コ/ml	減少	
≥10 ⁴ コ/ml	不変	不変

表に従い判定する。

4) 総合臨床効果 [Overall Clinical Efficacy]

症状, 膿球, 細菌を指標として, その推移に基づき, 下表のごとく著効 Excellent, 有効 Moderate, 無効 (増悪を含む) Poor (including Failure) の3段階に判定する。

ただし交代菌または残存原因菌が GPC の場合右上

症 状	消 失			軽 快			不 変		
膿 球	正常化	改善	不変	正常化	改善	不変	正常化	改善	不変
細 菌	陰 性 化	著効	有効	有効	有効	有効	有効	有効	無効
	減少, 菌交代	有効	有効	有効	有効	無効	有効	有効	無効
	不 変	有効	有効	無効	無効	無効	無効	無効	無効

5) 細菌学的効果 [Bacteriological Response]

細菌に対する効果とは別に, 菌種別に細菌学的効果を判定する。

【2】慢性前立腺炎

1. 対象疾患

尿路に基礎疾患を有さない慢性細菌性前立腺炎

2. 患者条件

1) 年齢: 16歳以上, 70歳未満

2) 膿球: 投薬前 EPS または VB3 中膿球数 ≥10コ/hpf

3) 菌数: 投薬前 EPS または VB3 中生菌数 ≥10³/ml

(ただし GPC のみ場合は ≥10⁴/ml)

3. 投薬期間

14日分投薬する。ただし, 14日分以上の投薬を継続する場合も, その前に本項の必要項目のチェックを行い, 判定を行っておけば本基準を適用できる。

4. 臨床効果の判定

14日目に自覚症状に対する効果, 膿球に対する効果, 細菌に対する効果, 総合臨床効果および細菌学的効果を判定する。ただし, 膿球および細菌に対する効果判定には前立腺マッサージをおこない EPS, VB3 の所見を採用する。EPS が得られれば, その所見を

優先して採用する。

(増悪を含む) Persisted, の3段階に判定する。

1) 自覚症状に対する効果 [Effect on Subjective Symptoms]

総合臨床効果の指標としては原則として取り上げないが、各症状ごとに別途集計する。各症状の判定は、右表のごとく消失 Resolved, 軽快 Improved, 不変

判定時	－	＋	＝	＝
投薬前	消失	不変	不変	不変
＋	消失	軽快	不変	不変
＝	消失	軽快	軽快	不変

判定時	0～4コ/hpf(－)	5～9コ/hpf(±)	10～29コ/hpf(＋)	＝	＝
投薬前	正常化	正常化	不変	不変	不変
10～29コ/hpf(＋)	正常化	正常化	改善	不変	不変
＝	正常化	正常化	改善	改善	不変

2) 膿球に対する効果 [Effect on WBCs]

上表のごとく正常化 Cleared, 改善 Decreased, 不変 (増悪を含む) Unchanged の3段階に判定する。

3) 細菌に対する効果 [Effect on Bacteria]

判定時に残存している原因菌と交代菌の菌数の組み合わせにより、下表のごとく陰性化 Eliminated, 減少 Decreased, 菌交代 Replaced, 不変 (増悪を含む) Unchanged の4段階に判定する。

交代菌	0～<10 ³ コ/ml	≥10 ³ コ/ml
原因菌	陰性化	菌交代
0	減少	不変
<10 ³ コ/ml	不変	不変

ただし交代菌または残存原因菌が GPC の場合下表に従い判定する。

交代菌	0～<10 ⁴ コ/ml	≥10 ⁴ コ/ml
原因菌	陰性化	菌交代
0	減少	不変
<10 ⁴ コ/ml	不変	不変

4) 総合臨床効果 [Overall Clinical Efficacy]

膿球と細菌を指標として、その推移に基づき、下表のごとく著効 Excellent, 有効 Moderate, 無効 (増悪を含む) Poor (including Failure) の3段階に判定する。

膿球	正常化	改善	不変
細菌	著効	有効	有効
陰性化	有効	有効	有効
減少	有効	有効	無効
菌交代	無効	無効	無効

5) 細菌学的効果 [Bacteriological Response]

細菌に対する効果とは別に、菌種別に細菌学的効果を判定する。

「前立腺炎」臨床成績調査表

薬 剂 名		症例No.		同 意	1 本人 2 家族 ()	1 口頭 2 文書	年 月 日
病 院 名		科名		担 当 医 署名・捺印	(印)		

患 者 氏 名			(1) 外来 (2) 入院 (3) 入院→外来	カルテNo.	
年 齢	歳	(1) 既婚 (2) 未婚	体 重	kg	不 明
診 断 名	急性・慢性・慢性の急性増悪 その他 () 前立腺炎		罹 病 期 間	年 ヶ月 (不 明)	
直 腸 指 診	前立腺腫大 (1) あり (2) なし		前立腺圧痛 (1) あり (2) なし		
基 礎 疾 患 お よ び 合 併 症	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div>(I) 尿 路 (1) なし (2) あり</div> <div>(II) 性 器 (1) なし (2) あり</div> <div>(III) 全 身 (1) なし (2) あり</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div>[]</div> <div>[]</div> <div>[]</div> </div>				
経尿道操作	(1) なし (2) あり [尿道カテーテル留置 <期間: 年 月 日 ~ 年 月 日>] [その他: <施行日 年 月 日>]				
既 往 歴					
現 病 歴 の 概 要 そ の 他					

本 剂 使 用 直 前 の 化 学 療 法	薬 剂 名	投 与 法	投 与 量	投 与 期 間	効 果
(1) なし (2) あり (3) 不 明		口 筋 静 点	/日	月 日 ~ 月 日 (日間)	(1) 無効 (2) 再発 (3) 副作用のため中止 (4) 不明
		口 筋 静 点	/日	月 日 ~ 月 日 (日間)	(1) 無効 (2) 再発 (3) 副作用のため中止 (4) 不明
		口 筋 静 点	/日	月 日 ~ 月 日 (日間)	(1) 無効 (2) 再発 (3) 副作用のため中止 (4) 不明
皮 内 反 応 試 験	薬剤名: () + -	アレルギー 既往歴	薬 剂	(1) なし [(3) ペニシリン (4) セフェム] (2) あり / (5) その他 ()	
	薬剤名: () + - 薬剤名: () + -		そ の 他	(1) なし (2) あり []	

		使用期間				/ ~ /				/ ~ /				/			
		使用薬剤(使用方法)				(PO・IV・IVD・IM)				(PO・IV・IVD・IM)							
		1日投与量				1回量 × 1日投与回数 () $\frac{g}{mg}$ × ()回				1回量 × 1日投与回数 () $\frac{g}{mg}$ × ()回				1回量 × () $\frac{g}{mg}$			
月 / 日		/				/				/				/			
観察日		開始 () 日前				使用開始日				8 日目				7 日目			
最高体温 (℃)		≥89	88	87	<87	≥89	88	87	<87	≥89	88	87	<87	≥89	88	87	<87
自覚症状	会陰部痛	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	会陰部不快感	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	排尿痛	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	排尿時不快感	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	排尿困難	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	残尿感	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	頻尿	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	下腹部痛	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	下腹部不快感	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	腰痛	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
前立腺触診	腫脹	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	圧痛	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	熱感	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	硬結	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	波動	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
C R P																	
血沈 (1hr, mm)																	
尿所見		VB ₁	VB ₂	VB ₃		VB ₁	VB ₂	VB ₃		VB ₁	VB ₂	VB ₃		VB ₁	VB ₂	VB ₃	
	蛋白																
	赤血球数 /hpf																
	白血球数 /hpf																
EPS	細菌																
	Clump	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—	卅	卅	+	—
	pH																
細菌学的検査	(菌数)	VB ₁	①	()	①	()	①	()	①	()							
			②	()	②	()	②	()	②	()							
			③	()	③	()	③	()	③	()							
			④	()	④	()	④	()	④	()							
			⑤	()	⑤	()	⑤	()	⑤	()							
			⑥	()	⑥	()	⑥	()	⑥	()							
			⑦	()	⑦	()	⑦	()	⑦	()							
			⑧	()	⑧	()	⑧	()	⑧	()							
			⑨	()	⑨	()	⑨	()	⑨	()							
		VB ₂	①	()	①	()	①	()	①	()							
			②	()	②	()	②	()	②	()							
			③	()	③	()	③	()	③	()							
VB ₃	①	()	①	()	①	()	①	()									
	②	()	②	()	②	()	②	()									
	③	()	③	()	③	()	③	()									
EPS	①	()	①	()	①	()	①	()									
	②	()	②	()	②	()	②	()									
	③	()	③	()	③	()	③	()									
VB ₃	①	()	①	()	①	()	①	()									
	②	()	②	()	②	()	②	()									
	③	()	③	()	③	()	③	()									
EPS (培養検体) 採取法	シードスワブ ディスボ・ループ ウリカルト その他 ()				シードスワブ ディスボ・ループ ウリカルト その他 ()				シードスワブ ディスボ・ループ ウリカルト その他 ()				シードスワブ ディスボ・ループ ウリカルト その他 ()				
起炎菌推定に対するコメント									急性前立腺炎 3日目判定 (発熱と排尿痛)				急性前立腺炎 総合臨床効果判定日				

慢性前列腺炎
総合臨床効果判定日

主治医判定	薬剤 () 判定日 (/)	臨床効果	(1) 著効 (2) 有効 (3) やや有効 (4) 無効 (5) 不明	判定の根拠			
		有用性	(1) 非常に満足 (2) 満足 (3) まずまず (4) 不満 (5) 非常に不満 (6) 判定不能				
	薬剤 () 判定日 (/)	臨床効果	(1) 著効 (2) 有効 (3) やや有効 (4) 無効 (5) 不明	判定の根拠			
		有用性	(1) 非常に満足 (2) 満足 (3) まずまず (4) 不満 (5) 非常に不満 (6) 判定不能				
	薬剤 () 判定日 (/)	臨床効果	(1) 著効 (2) 有効 (3) やや有効 (4) 無効 (5) 不明	判定の根拠			
		有用性	(1) 非常に満足 (2) 満足 (3) まずまず (4) 不満 (5) 非常に不満 (6) 判定不能				
副作用	(1) なし	症状	程度*	発現日	消失日	薬剤名	薬剤との関係**
	(2) あり (3) 不明		卅 卅 +	日目	日目		1 2 3 4 5
			卅 卅 +	日目	日目		1 2 3 4 5
			卅 卅 +	日目	日目		1 2 3 4 5
	投薬 (1) 継続 (2) 減量 (3) 中止 処置 (1) なし (2) あり () 経過 ()						

* 卅: 例えば薬剤の投与を中止せざるを得ないほど強いもの ** 1. 明らかに関係あり 2. 多分関係あり
 卅: 症状に対する処置を必要とする程度のもの 3. 関係あるかもしれない 4. 関係ないらしい 5. 関係なし
 +: 症状に対する処置を必要としないほど軽度のもの

UTI判定 (この欄は記入しないで下さい。)

採用除外脱落	採用除外理由:	症状パラメーター	発熱 (): スコア				排尿痛 (): スコア													
			判定時 投薬前	-	+	++~卅	判定時 投薬前	-	+	++	卅									
否			+				+			不変										
			++	平熱化	軽快	不変	++	消失	軽快	(0)										
			卅	(2)	(1)	(0)	卅	(2)	(1)											
急性前立腺炎では、7日目のこれら2症状のスコアの和から症状(発熱, 排尿痛)消失(4点), 軽快(2~3点), 不変(0~1点)の3段階に判定する。																				
共通パラメーター	膿球		細菌				交代菌または残存原因菌がGPCの場合, 下記に従い判定する。													
	前	後	-	±	+	++	卅	原因菌	交代菌 0~ <10 ⁵ コ/μl	≥10 ⁵ コ/μl	原因菌	交代菌 0~ <10 ⁴ コ/μl	≥10 ⁴ コ/μl							
	+	(0~4)	(5~9)	(10~29)	++	卅	0	陰性化	菌交代	0	陰性化	菌交代								
	++	正常化			不変		<10 ⁵ コ/μl	減少		<10 ⁴ コ/μl	減少									
	卅			改善			≥10 ⁵ コ/μl	不変		≥10 ⁴ コ/μl	不変									
急性前立腺炎	総合臨床効果										総合臨床効果									
	症状		消失		軽快		不変		総合臨床効果		膿球		正常化		改善		不変		総合臨床効果	
	膿球		正常化		改善		不変		正常化		改善		不変		正常化		改善		不変	
	細菌		陰性化		著効				有効						陰性化		著効			
	減少, 菌交代														減少		有効			
	菌交代														菌交代					
	不変				無効										不変		無効			
	3日目判定										7日目判定									
	発熱 (1) 平熱化, (2) 軽快, (3) 不変										症状 (1) 消失, (2) 軽快, (3) 不変									
	排尿痛 (1) 消失, (2) 軽快, (3) 不変										膿球 (1) 正常化, (2) 改善, (3) 不変									
										細菌 (1) 陰性化, (2) 減少 (3) 菌交代, (4) 不変										
										総合臨床効果 (1) 著効, (2) 有効, (3) 無効										
										膿球 (1) 正常化, (2) 改善, (3) 不変										
										細菌 (1) 陰性化, (2) 減少 (3) 菌交代, (4) 不変										
										総合臨床効果 (1) 著効, (2) 有効, (3) 無効										

細菌学的検査

検査時期	分離材料	菌 種 (菌数)			細菌学的効果	MIC (採・否)			
		施設	集 中 測 定 その他〔 〕	判 定					
						10 ⁴	10 ⁶	10 ⁸	10 ⁶
使用開始時（月 日）	VB（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
		（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
		（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
	EPS	（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
		（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
		（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
	VB ₈	（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
		（ ）	（ ）	（ ）	消・存				
日 目（月 日）	VB（ ）	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
	EPS	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
	VB ₈	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
日 目（月 日）	VB（ ）	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
	EPS	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
	VB ₈	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
日 目（月 日）	VB（ ）	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
	EPS	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					
	VB ₈	（ ）	（ ）	（ ）					
		（ ）	（ ）	（ ）					

免疫学的検査 (クラミジア トラコマーチス)

月・日	検 体	総抗体価	IGG	IGA	IGM	月・日	検 体	総抗体価	IGG	IGA	IGM
月 日	EPS					月 日	EPS				
	血 清						血 清				
月 日	EPS					月 日	EPS				
	血 清						血 清				

臨床検査成績 (実施の有無:なし,あり)

(本剤使用開始以降に異常値が認められた時は再検をお願いします)

項 目	使用前(月/日)		使用(月/日)		使用後(月/日)		使用(月/日)		担当医判定*		
	実数値	正・異	実数値	実数値	実数値	実数値	悪化(本剤との関係)	不変	改善		
血液	赤血球($\times 10^4$)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	血色素量(g/dl)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	ヘマトクリット(%)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	白血球数		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	好塩基球		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	好酸球		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	好中球		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	リンパ球		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	単球		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	血小板数($\times 10^4$)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	プロトロンビン時間(秒)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
			正・異				1 2 3 4 5	不	改		
			正・異				1 2 3 4 5	不	改		
肝機能	S-GOT()		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	S-GPT()		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	Al-Pase()		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	ビリルビン 直接		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	(mg/dl) 総		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
			正・異				1 2 3 4 5	不	改		
			正・異				1 2 3 4 5	不	改		
腎機能	BUN (mg/dl)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	血清クレアチニン (mg/dl)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	P 15分値		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	P 2時間値		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	クレアチニンクリアランス()		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
尿所見	蛋白		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	糖		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	ウロビリノーゲン		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
その他	電解質 Na		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	K		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	Cl		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	クームス(直・間)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	C R P		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
	血沈(1時間)		正・異				1 2 3 4 5	不	改		
			正・異				1 2 3 4 5	不	改		
			正・異				1 2 3 4 5	不	改		

* 使用後の悪化・不変・改善の判断は、主治医が測定誤差範囲などを勘案して、決定して下さい。使用後悪化した場合は、担当医の判定基準で、本剤との関係を下記の通り判定して下さい。

本剤との関係: 1. 明らかに関係あり 2. 多分関係あり 3. 関係あるかもしれない 4. 関係ないらしい 5. 関係なし

備考: (特に臨床検査値の異常を認めた場合、薬剤との関係、処置・経過、および使用を中止した場合はその理由、その後の転帰について必ず書き下さい。)